

# 1 1月定例山行 行者山 (313m) ～ 傘山 (649m)

大竹市玖波町

1 1月26日 (日) ☆天候 雨

参加者 6名 CL 小山 SL 熊野  
得本、宍戸、入江、T・T

## コースタイム

JR 玖波駅(8:00) →行者山登山口(8:45)  
→行者山(9:40) →玖波槍山(9:55) →  
傘山林道登山口(10:30) →傘山(12:10～  
12:35) →行者山分かれ(13:20) →  
憩の森キャンプ場(14:05～14:30) →錦竜  
の滝(14:45～15:10) →展望台(15:30)  
→JR 玖波駅(16:10)



## 報 告

JR 玖波駅に集合したときから、いつ雨が降ってもおかしくない状態でした。そこで、雨が激しいようならば、行者山だけを登って憩の森キャンプ場・錦竜の滝を經由して帰る場合もあることを説明して出発する。行者山登山口から登り始めましたが、曇っているが「雨はなし」。行者山の鎖場の岩では、久々に「童心に戻りワクワクした」人もいたようでした。

玖波槍山からは遠望も利き、山々の秋の色を愛でることができました。傘山登山口で、「天候も曇、足元も良い」ので当初の計画通り縦走することを説明し、傘山に向かって歩を進めました。行者山の頂上で出合った山口県からの約20名の

団体も傘山に向かいます。傘山の反射板手前から、小雨が落ちてきました。傘山頂上では最小限の時間で昼食を済ませ下山。憩の森キャンプ場の東屋で、長めのティータイムで寛いでから、錦竜の滝・展望台とタップリ回って、今回の長い山行は終了です。

今回、参加者が少ないこともあって、先頭を歩く人(リーダー)を交代で担当。『休憩のタイミング・休憩場所・出発時間の確認・声かけ・後方の人への留意など』、「リーダー」体験をして頂きました。今後、「中級者の登山学校(リーダー養成)」なるものが必要であると思っています。(記 小山 晃)

## 感 想

今回は、いつか見た晴天の傘山山頂より眺める、三倉岳を見たくて参加しまし

た。当日は生憎のお天気で玖波駅で雨具をつけての出発でした。玖波槍での36

0度の展望は、いつまでも座っていたい気分にしてくれますし、林道までの終わりがけた紅葉や目指す傘山を眺めながらのいくつかのアップダウンは、歩きやすく心地よい歩きをすることができます。傘山頂上手前より雨がかなり降り始め、昼食タイムも20分で、もちろん立食パーティーなのですが、そのあわただしい山頂で、私は今回の目的の三倉岳を眺めることをすっかり忘れ下山してしまいました。

帰路は谷コースを下り、錦龍の滝を見学の後、キャンプ場にてティータイムをとりましたが、晩秋の人けのない憩いの森には私たちの声だけが響いていました。展望台上がり、判りにくい案内板にし

雨の山行も楽しいかなと参加。玖波の駅舎での準備でワクワクだ。社で拍手した。急坂に大汗。鎖場を仰ぎながら「ここは行者さんしかうたえません。」とリーダー。「30分経ったら休憩、こまめに行動食を」の声が疲れを最小限にしてくれた。薄暗い雨の中、黄色の落ち葉は灯がついた様。途中山口のパーティに出会う。いよいよ3つ目の傘山にアタック。こんどは私が先頭だ。フードで視界が悪く、二度も横枝で頭をゴツン！。

頂上だ。一度はしてみたかった合羽と傘で立つての食事。面白かった。悪路の下山道に耐えて、錦龍の滝へ。ここで記

ばし立ち止まった後、疲れた足で小さな峠道を下り玖波駅へと急ぎました。

個人的に言えば、この山行は五年前の秋、私のためにあったような「新人教育、実技山行」とほぼ同じコース、同じリーダー、同じ雨模様の三拍子そろった思い出深い山行となりました。何度登ってもこの山では私に宿題が出てしまいます。三倉岳を見ないで下山した事、展望台での案内図も納得できてない事、そして他にも??と思うことがあり、いつの日か再挑戦ということになりそうです。嫌だと思った雨の山行ですが、リーダーはじめ、お仲間のおかげで楽しい一日を過ごさせていただき感謝です。

(記 宍戸 佐千子)

念写真。帰宅は17時30分。7時間の歩行で足裏が赤くなっていた。小パーティは、顔と名前がすぐ覚えられてよかった。皆さんお世話になりました。

(記 T・T)



11月2日 大野権現山は参加者がいないため中止されました。